

第 17 号
H24. 2
狭山台小学校
学校だより

「二人の時は素直な良い子なんですが。」
「二人の時は挨拶をよくするのですが。」
こんな会話を地域の方とする機会がありました。

ことがありました。その時、児童館の方は「机の上にのらないで」

「靴下のまま、出入りすると床が汚れるので、靴に履き替えて出て」と、注意してくれました。しかし、子どもたちは、その注意を無視して、わがもの顔でふるまい続けました。

困った児童館の方が学校に通報し、学校が謝罪に行った時の言葉です。

後者は、地域で登下校の見守りをしていただいている方の話です。

ことがありました。その時、児童館の方は「机の上にのらないで」

「靴下のまま、出入りすると床が汚れるので、靴に履き替えて出て」と、注意してくれました。しかし、子どもたちは、その注意を無視して、わがもの顔でふるまい続けました。

困った児童館の方が学校に通報し、学校が謝罪に行った時の言葉です。

後者は、地域で登下校の見守りをしていただいている方の話です。

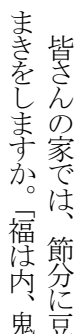
「二人で会った時には大きな声で挨拶をしてくれるのだけれど、登校班で登校する時には、みんな下を向いて、挨拶ができないですね。」

この二つの話を聞いて、集団に左右されやすい子どもたちの傾向が見えてきました。一人だと善悪の判断やその場に合った態度ができるのに、集団になると、その時の勢いに合わせ、みんなやっているんだから、あるいはみんなやっていないのだからいいやとなってしまうのは残念なことです。

一人でも、集団でも悪いことはやらない、良いことは進んでやるという強い気持ちを保持してほしいと思います。

今年度もあとわずかとなりましたが、来年度に向けて、さらに一歩でも前進できるように職員一同力を尽くしてまいりますので、御支援・御協力をお願いいたします。

二月三日は、節分です。
節分とは、立春の前の日で、
冬と春の分かれ目の日、つま
り季節を分ける日という意味
です。



は外と言いますが、幸福を家と呼び込み、鬼を外に追い払いたいという願いが込められています。まいいた豆は、年の数だけ食べたり、福茶にして飲んだりします。

我家では、節分の日に、必ず、焼いた鰯と油揚げと牛蒡や人参、大根の入った煮物を食べます。鰯の頭は、柊の枝に挿し、玄關に飾ります。

これは、鰯を焼くときに出る激しい煙と

インフルエンザ予防の
第一は、ウィルスを体
内に入れないことです。人混みや外出先か
ら帰った場合は、丁寧に手洗いとうがい
を励行することが大切です。マスクの着用も
効果があります。

もしウィルスが体内に入っても、体力があれば、発症が軽く、回復が早くなります。栄養と睡眠を十分にとる事が大切です。熱が急に上がったら、すぐに医師の診断を受け、その結果を学校にお知らせ下さい。インフルエンザの場合は、出席停止となり、休んでも欠席扱いになりません。

においで鬼を追い出し、柊の葉のとげで鬼の目をさすという魔よけの意味があります。昔の人は、季節の変わり目に、無病息災、つまり、病気や災いがないようにしたいという願いを込めて、このような行事を作り出したのだと思います。

そう言えば、鰯は、DHAやカルシウムなど栄養がたくさん入った食べ物ですし、大豆は、畑の肉と言われるように、タンパク質がたくさん入った食べ物です。昔は栄養豊富な食べ物がそんなに多くなかったの
で、栄養豊富な大豆や鰯を食べることで健康や無病を願うという意味もあるのかもし
れません。

昔から今に伝わってきた行事を、続けていくことも大切なことだと思います。皆さんの家でも、それぞれの節分を楽しんでください。